

思い出の船(1) 客船「にっぽん丸」(初代)(1958~1998)



元「あるぜんちな丸」(二代目)。クルーズの楽しさを教えてくれた船。

思い出の船(2) 客船「にっぽん丸」(二代目)(1962~1998)



海外から購入。元「セブンシーズ」。外国製の“客船らしい客船”で魅了された船。

思い出の船(3) 新さくら丸(1972~2001)



見本市船をクルーズ用に改造。  
決して豪華ではないが、リーズナブルな料金でクルーズを堪能した船。

思い出の船(4) コーラルプリンセス(1962~2001)



初めて乗った外国籍の客船。士官は英国人、部員はフィリピン人で外国の雰囲気を楽しんだ船。

思い出の船(5) 巡視船「えさん」(初代)(1978～2008退役)



写真は「えさん」ではなく、新さくら丸の北海道クルーズの際、撮影した同型1番船の「しれとこ」です。  
 (「えさん」は2番船) 昭和52年、200海里排他的経済水域の設定により警備範囲が増大し、  
 急遽28隻が建造されました。入社して初めて、建造の最初から最後まで関わった船。

思い出の船(6) しれとこ丸(1972～1987売却)



客船に乗るお金も時間も無い頃(お金は今もありませんが)、乗りまくっていた長距離フェリーの中の一隻。先般10月の友の会の船旅の途中、苫小牧港でパネルと模型に出会い、感無量。(右の二枚)

思い出の船(7) ミサイル艇(1993～2010)



日本海の警備強化のため建造された全没型水中翼艇で、三隻建造された。  
 2001年の友の会の船旅の途中、北海道の余市で再会し、感無量。(右の写真)

思い出の船(8) 試験艦「あすか」(1995～)



各種兵装品を搭載し、性能試験を行う艦。船首下部の箱状のものは進水用浮力タンク。  
 進水後、ドックでこのタンクを撤去し、長大なソナードームを取り付けた。  
 初めて進水主任を務めた船。

### 想いの船(9) 客船「BERLIN」(1980～)



ドイツのクルーズ客船。マレーシアに駐在時、初めて家族で乗った外国客船。  
コースはブーケット～ポートケラン～シンガポール

### 想いの船(10) 帆船「日本丸」(二世)(1984～)



建造監督である航海訓練所の先生と“50年持たせる船”を合言葉に、造船所の総力をあげて造った船。  
そして皇太子ご夫妻(当時)をお迎えし、チヨー緊張した進水式。造船屋真利に尽きる船。

最後までお付き合い頂き、有難うございます。

船ファンには客船派、艦船派、帆船派、商船派とかいがあるそうですが、私はジャンルを問いませんので、節操なく想い出に残る船をピックアップしてみました。  
仕事柄(造船所勤務)、建造に関わった船が多い点、ご容赦ください。

当時はデジカメもなく、手持ちの写真は変色しており、一部はエハガキ等で代用させていた  
だきました。見栄えが悪い点もご容赦ください。

これらの船の中で、今も現役なのは「あすか」、「日本丸」(二世)、「BERLIN」(船名は変更)  
の三隻だけです。  
(「しれとこ丸」は海外売船後、改造されて今も活躍中という情報がありますが未確認です)

ここにあげた船以外の一般商船(タンカー、バルク、PCCなど)にも記憶に残る船が  
あります。船は一隻毎に想い出をくれるところがいいですね。

皆様も心に残る船、港がおありと思います。  
どうぞお気軽にお寄せください。(本メールへの返信、写真添付でOKです)